

## 認知症通じて夫婦愛描く

## 「そうかもしれない」上映

豊橋で8日

認知症を通じて

夫婦関係などを描く映画「そうかもしれない」の特別映写会が10月8日、豊橋市向山大池町の豊橋市民文化会館で開かれる。

NPO法人たすけあい三河が、少子高齢化が進む現代社会で認知症の高齢者が増えていくことが予想される

ため、理解を深めて支えあっていく大切さを知ってもらおうと上映を決めた。

映画は05(平成17)年製作で、脚本監督は保坂延彦さん。主演は女優の雪村いづみさんと、上方落語界の重鎮である桂春團治さんの2人が夫婦役を

演じる。妻に認知症が発覚し、夫も病に倒れるという困難に向き合う夫婦愛を描く。

午前10時と午後2時、午後6時の3回上映。前売り券1000円、当日券1200円で高校生以下は無料。

前売り券の購入及び問い合わせは、「そうかもしれない」自主上映運営事務局 053-2(52)4315 へ。

(佐々木雄紫)